

様式第2号（第8条関係）

会議録

- 1 会議の名称 令和5年度 第2回 川根本町バス路線対策委員会
- 2 会議日時 令和5年12月7日（木） 午後2時から3時30分まで
- 3 開催場所 川根本町山村開発センター 大会議室
- 4 出席したものの氏名
 - (1) 委員 森下洋一委員長、佐藤淑彦委員、井澤光宏委員、坂本政己委員、松下守委員、松永信二委員、御倉洋司委員、中村玲子委員、大村富子委員、藤井建樹委員（代理）
 - (2) 執行機関 （事務局）梶山正幸課長、山本雅俊室長、松村美里主査
- 5 次第、会議資料の名称
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 報告事項
川根本町自主運行事業について
令和4年度、5年度町営公共交通機関の利用実績について
 - (4) 協議事項
令和6年度 路線バス千頭・家山線「川根温泉ホテル」バス停設置について
令和6年度 路線バス千頭・家山線の定期券発行について
令和6年度 川根本町自主運行事業計画について
 - (5) 閉会
- 6 発言の内容

【報告事項】

川根本町自主運行事業について

令和4年度、5年度町営公共交通機関の利用実績について

（委員）

路線バス千頭・家山線の車両について、座席数が少ないように感じた。乗客から席に座れないという苦情はあったか。また、バスから鉄道への乗り継ぎ時間が少なく感じるが、苦情はあったか。

（事務局）

そういった苦情はない。

(委員長)

紅葉シーズンに増便をしたのか。

(事務局)

観光客によるバス利用者の増加が見込まれたため、11月の主に休日・祝日で11日間増便し、乗りこぼしはなかった。

(委員)

路線バス千頭・家山線のダイヤについて、川根高校の始業・終業時間に配慮いただいた。

また、川根高校の弓道部員が9月まではそれまで運行していた路線バスで高校から町営弓道場まで移動していたが、バスが廃止されてからデマンドタクシーを利用している。予約した時間で利用でき使い勝手がいい。

(委員)

地名のバス停について、高齢者は県道沿いにあるバス停まで歩いていけない。バス停の場所についてなかなか地元の理解が得られていない。

(事務局)

安全面や運行時間を考慮し県道沿いとした。バスを利用できない方はデマンドタクシーの利用をお願いしたい。

【協議事項】

① 令和6年度 路線バス千頭・家山線「川根温泉ホテル」バス停設置について

(委員)

今後どのような手続きがあるのか。

(事務局)

川根本町と島田市の地域公共交通会議で協議し承諾された後、運輸局へ申請を上げる。許可が下りてから住民への広報を行う。

(委員)

変更後のダイヤ案について、運行時間を50分から45分に短縮するなら、朝の発車時刻も5分遅らせてはどうか。

(事務局)

鉄道への乗り継ぎ時間を少しでも長く確保したいことと、車両1台での対応で折り返し時間の関係もあり、今回提示した時刻で運行をしたい。

(委員)

現在、島田市川根町から川根高校へ通っている生徒が3名いる。バス停が増えることは生徒の通学を考えると助かる。

(委員長)

路線バス千頭・家山線の「川根温泉ホテル」バス停設置の事業実施に向けて取り組んでいただきたい。

② 令和6年度 路線バス千頭・家山線の定期券発行について

(委員長)

資料に書かれている「通学者」はほとんどが高校生か。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

川根本町から附属島田中学校に通う生徒も利用できるのか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員長)

路線バス千頭・家山線の定期券発行の事業実施に向けて取り組んでいただきたい。

③ 令和6年度 川根本町自主運行事業計画について

(委員)

川根本町に来る観光客数が減っていると感じる。町営バスと鉄道の本数を今以上に増やすことはできないか。

(事務局)

川根本町全体の公共交通の在り方について、住民や利用者、事業者の意見を聞きながら検討していく。

(委員長)

安心・便利な輸送サービスを提供していただくよう来年度も取り組んでいただきたい。

上記に相違ないことを確認する。

バス路線対策委員会 委員長 森下洋一